



神を仰ぎ 人に仕う

# Chapel News

2020年1月

No.17

## 平和を造る人々

2020年を迎えました。2000年を迎えてから、すでに20年が経ったわけです。2000年を迎えるとき、世界中のコンピューターが誤作動を起こすのではないかと心配されました。しかし、それは現実とはなりません。それどころか、ますます科学技術は進歩し、今やAIの時代に突入しています。他方、2001年にはアメリカで同時多発テロが起こり、その後その報復の戦争が繰り返され、それがさらなる暴力と殺戮を引き起こしてきました。加えて、深刻な自然災害が世界的な規模で毎年のように起こっています。この20年を振り返っただけでも、わたしたちは惨憺たる思いに捕らわれて行くのではないのでしょうか。

しかし、今年はオリンピックの年です。しかも、東京で開催されるオリンピックです。オリンピックは、別名「平和の祭典」とも呼ばれてきました。それはオリンピックのマークである五輪にもよく示されています。5つの輪は5つの大陸を表し、五輪の5つの色と背景の白はすべての国の国旗の色を示していて、それが重なり合うことで平和が願われています。しかし、反面、その平和の祭典がしばしば戦争によって踏みにじられてきたのも事実です。今年、1964年に続き2回目の東京オリンピックが開催されますが、それに先立ち、すでに1940年に最初の東京オリンピックが開催されることになっていました。しかし、日中戦争(支那事変)などのために返上に追い込まれてしまったのです。2つの世界大戦の時代は、当然オリンピックは開催できませんでした。正に、平和な時でしかオリンピックは開催できないのです。そのオリンピックが、今年東京で開催されるわけです。しかし、今、それにふさわしい真実の平和は実現しているのでしょうか。

聖書には、「平和を造る人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる」(聖書協会共同訳)と記されています。平和を造る人たちは、神の子なのです。神を信じ、神の愛に生きる人々なのです。逆に言えば、そういう人たちだからこそ、平和を造り出して行くことができるとも言えます。なぜなら、平和を造り出すためには、神の助けが必要だからです。神の愛に励まされないと、私たちは悪しき思いを打ち破り、平和を造り出して行くことはできないからです。今年、オリンピックを覚える中で、私たち一人ひとりが、それぞれの場で、神の愛に励まされながら、平和を造る者となっていきたいと思います。

(キリスト教センター所長・政治経済学部チャプレン 菊地 順)

### 2019年度年間聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 12節

### 1月月間聖句

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。コリントの信徒への手紙二 4章 18節

### チャペル開放について

授業期間中、月曜日の10時から16時までの間、静かにお祈りをする方のためにチャペルを開放しています。ご希望の方はチャペル正面玄関よりお入りください。

### 聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。  
どなたでも自由にご参加ください。

・1月9日(木) 民数記 26章 東野 ひかり牧師

### 全学礼拝期間について

2019年度秋学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。

秋学期/2019年10月1日(火)～2020年1月24日(金)

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
ねがわくはみ名をあげさせたまえ  
み国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ  
我らをこころみにあわせず  
悪より救い出したまえ  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

1月7日(火)

奨励者 菊地 順  
(キリスト教センター所長  
・政治経済学部チャプレン)  
司会者 五十嵐 成見  
奏楽者 今村 優子  
◆ ◆ ◆  
前 奏  
讃美歌 324 番 1、2 節  
聖 書 ヨハネによる福音書  
2 章 1~11 節(新約 P.165)  
祈 禱  
奨 励 「新しく始める」  
祈 禱  
讃美歌 324 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

1月9日(木)

奨励者 山口 博  
(聖学院院長、女子聖学院中高校長)  
司会者 菊地 順  
奏楽者 今村 優子  
◆ ◆ ◆  
前 奏  
讃美歌 270 番 1、2 節  
聖 書 ローマの信徒への手紙  
3 章 21~26 節(新約 P.277)  
祈 禱  
奨 励 「ところが今や・・・」  
祈 禱  
讃美歌 270 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

1月8日(水)

奨励者 佐藤 聡  
(人事部長)  
司会者 柳田 洋夫  
奏楽者 相川 徳孝  
◆ ◆ ◆  
前 奏  
讃美歌 461 番 1、2 節  
聖 書 マルコによる福音書  
14 章 66~72 節(新約 P.94)  
祈 禱  
奨 励 「ペテロの失敗」  
祈 禱  
讃美歌 461 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

1月10日(金)

奨励者 村岡 有香  
(欧米文化学科准教授)  
司会者 久保 哲哉  
奏楽者 今村 優子  
◆ ◆ ◆  
前 奏  
讃美歌 352 番 1、2 節  
聖 書 マタイによる福音書  
5 章 14~16 節(新約 P.6)  
祈 禱  
奨 励 「あなたの光を輝かしなさい」  
祈 禱  
讃美歌 352 番 3 節  
主の祈り  
後 奏

# ☆☆☆リトリートのお知らせ☆☆☆



日時:2020年2月6日(木)~7日(金)  
場所:森林公園ホテルヘリテイジ(熊谷)

締め切り  
1月17日(金)



**リトリートとは?** 実行委員たちが考えたテーマをもとに、学生と教職員がひとつになって楽しいときを過ごします。笑いあり、涙あり、賛美あり、ゲームあり。おいしい食事と温泉で、心も体もリフレッシュするときを一緒に過ごしませんか!?  
参加希望者はキリスト教センターまでお問合せください!! 参加費:5,000円 (1泊3食付)



テーマ:働きアリの限界 ~その時気付くキリギリスの大切さ~  
講師:竹井 潔先生(政治経済学部准教授) 聖句:創世記2章2節